

2015年11月13日

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料



新田ゼラチン株式会社

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

1

目次

 **Nitta Gelatin Inc.**

1. 事業概要
2. 2016年3月期第2四半期実績
3. 中期経営計画
4. 2016年3月期見通し

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

2

1. 事業概要

1 事業概要

会社概要

会社名	新田ゼラチン株式会社 (Nitta Gelatin Inc.)
代表者	代表取締役社長 尾形 浩一(おがた こういち)
本店	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年(大正7年)1月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 4977)
資本金	3,144百万円
連結売上高	319億円 (2015年3月期)
連結従業員数	1,178名 (2015年9月末現在)

事業セグメント・部門と主要製品

事業セグメント	部門	製品	用途
コラーゲン 素材事業	ゼラチン	食品用	グミやマシュマロ等の製菓、各種食品、コンビニ総菜、冷凍食品等
		カプセル用	ハードカプセル、ソフトカプセル等
		写真用	カラーフィルム、レントゲンフィルム、印画紙等
	ペプチド	コラーゲンペプチド	栄養補助食品、サプリメント、機能性栄養食品等
	ケーシング	コラーゲンケーシング	ソーセージ、フランクフルト、スナック、サラミ等
	ライフサイエンス	コラーゲン、ゼラチン	組織培養用研究試薬、人工皮膚、人工骨、DDS等
フォーミュラ ソリューション 事業	食品材料	食用ゲル化剤 各種品質安定剤	デザートゼリー、総菜、畜肉製品等
	接着剤	高機能樹脂	スマートホン、携帯電話、タブレット、デジタルカメラ等
		ホットメルト形接着剤	包装、製本、建材、衛生材料等
		にかわ系接着剤	製本、紙器、紙工等

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

5

2. 2016年3月期第2四半期実績

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

6

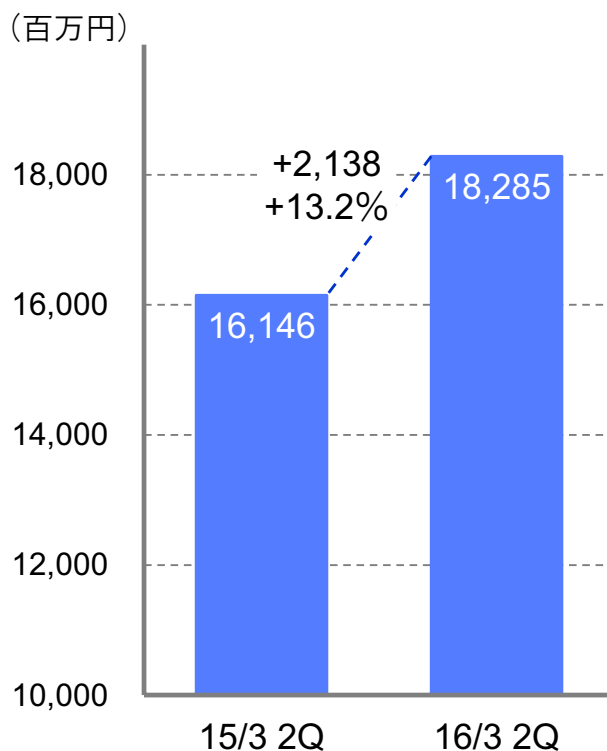
業績推移 ①: 売上高

売上高: 18,285百万円

前年比: +2,138百万円
+13.2%

予想比: Δ 514百万円
 Δ 2.7%

- 国内販売堅調
- インド3社の連結子会社化



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

7

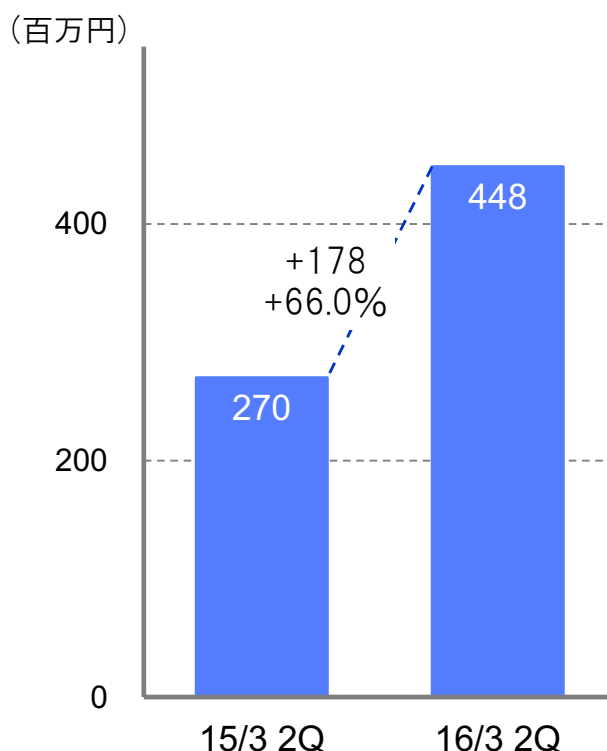
業績推移 ②: 営業利益

営業利益: 448百万円

前年比: +178百万円
+66.0%

予想比: Δ 151百万円
 Δ 25.2%

- 国内: ゼラチン、ペプチド堅調
- 北米: ゼラチン販売価格低下
ケーシング販売減少



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

8

業績推移 ③： 経常利益

経常利益： 365百万円

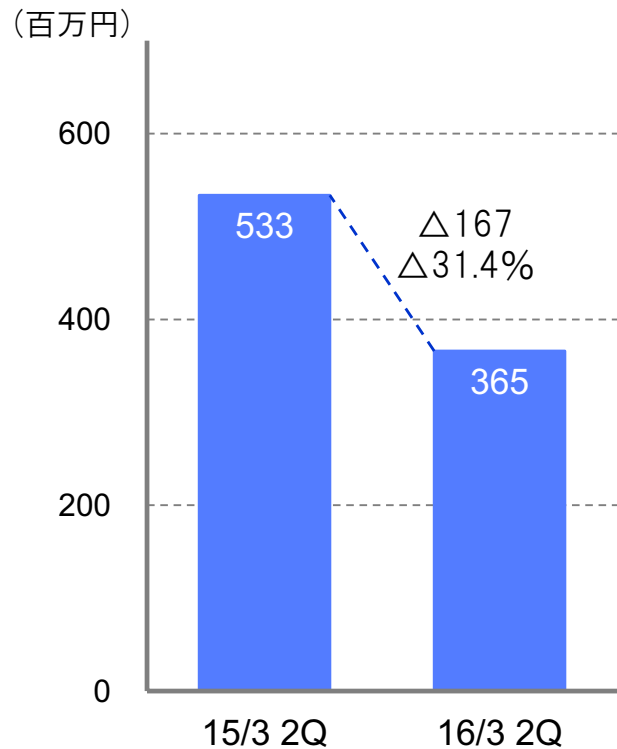
前年比： $\Delta 167$ 百万円

$\Delta 31.4\%$

予想比： $\Delta 134$ 百万円

$\Delta 26.8\%$

- 為替差益減少
- 支払利息増加
- インド3社の連結子会社化による



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

インド関係会社の連結子会社化

2015年4月

- Nitta Gelatin India Ltd.

ケララ州

ゼラチン、コラーゲンペプチド、
ゼラチン原料の製造販売

- Bamni Proteins Ltd.

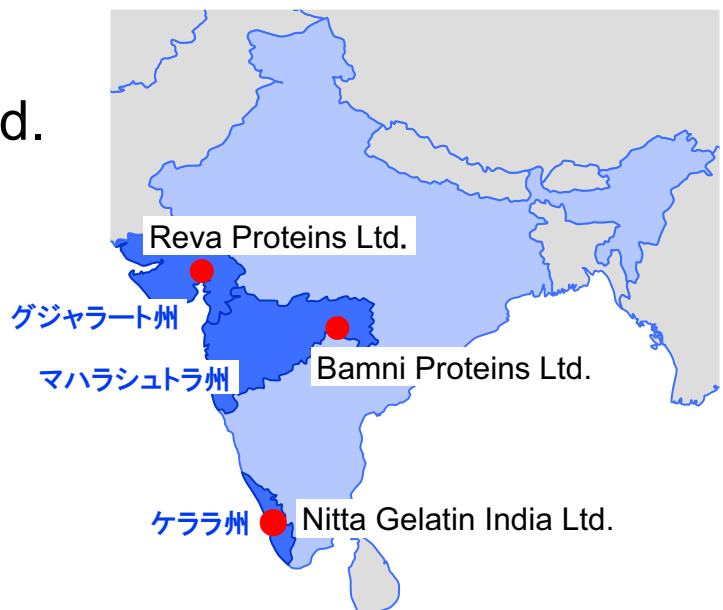
マハラシュトラ州

ゼラチン原料の製造販売

- Reva Proteins Ltd.

グジャラート州

ゼラチン原料の製造販売



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

中国連結子会社の出資比率変更に伴う異動

2015年9月 出資比率70%→30%

連結子会社
北京新田膠原腸衣有限公司



持分法適用会社
北京秋実膠原腸衣有限公司



事業内容:コラーゲンケーシングの製造販売

特別損益について

インド3社の連結子会社化

特別利益(負ののれん) 502百万円

特別損失(段階取得に係わる差損) △620百万円

中国の連結子会社を持分法適用会社へ異動

特別利益(持分変動益) 157百万円

業績推移 ④：親会社株主に帰属する四半期純利益

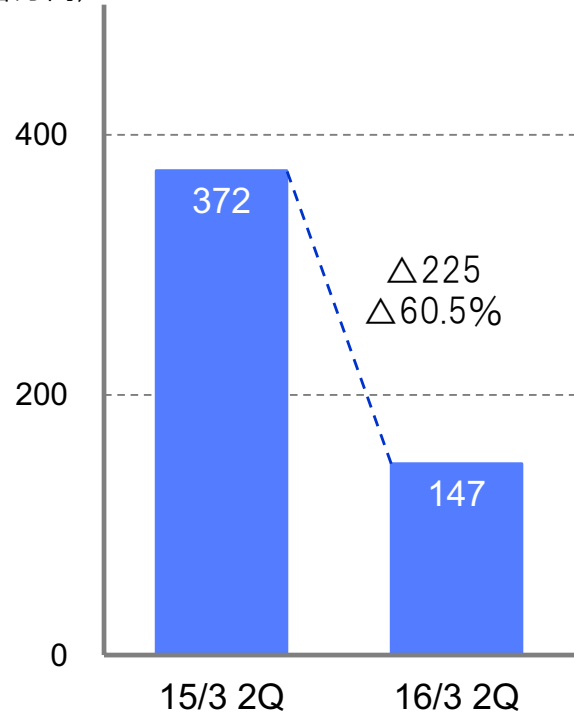
親会社株主に帰属する

四半期純利益：147百万円

前年比： $\Delta 225$ 百万円
 $\Delta 60.5\%$

予想比： +47百万円
+47.1%

(百万円)



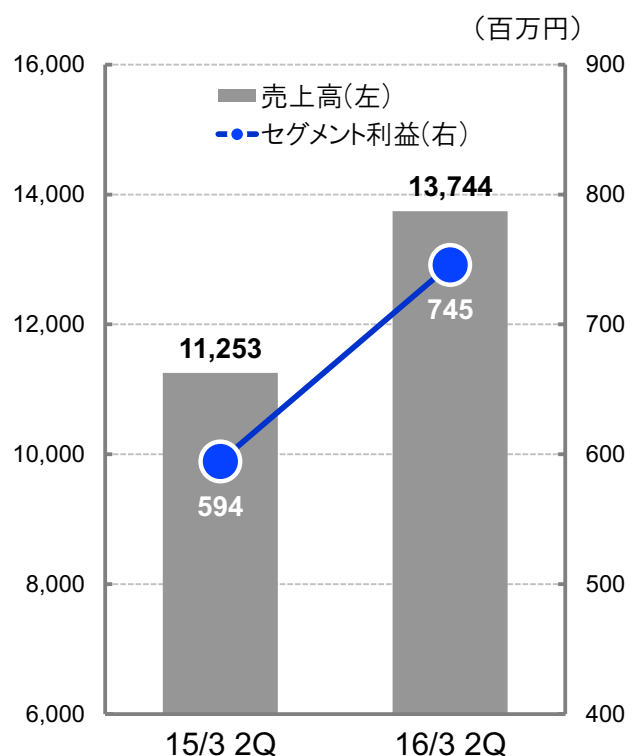
コラーゲン素材事業

売上高：13,744百万円

前年比： +2,491百万円
+22.1%

セグメント利益：745百万円

前年比： +151百万円
+25.5%



コラーゲン素材事業

- **ゼラチン**
 - 日本** 食用、カプセル用が堅調
 - 海外** 販売価格低下による売上減
インド3社の連結子会社化
- **ペプチド** 健康食品、一般食品向け好調
インバウンド需要増加
- **ケーシング** 北米での競争激化
ドル高による欧州向け輸出減

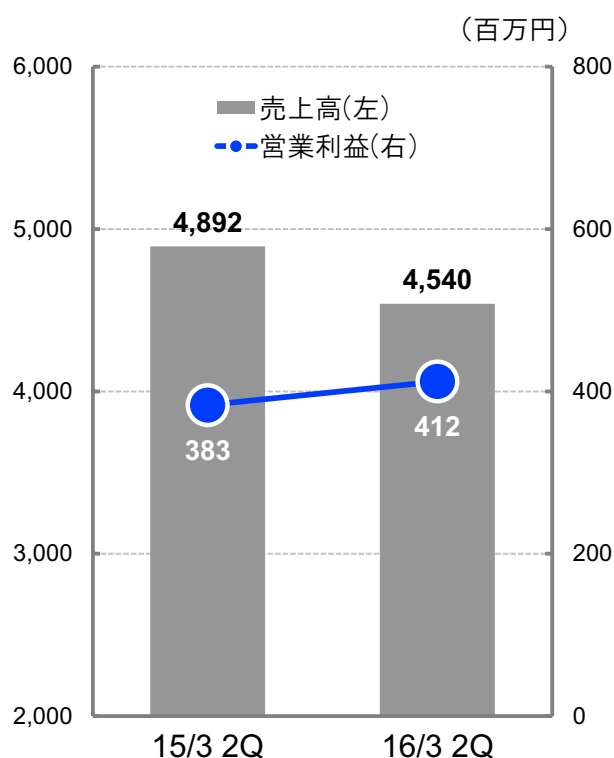
フォーミュラソリューション事業

売上高: 4,540百万円

前年比: $\Delta 352$ 百万円
 $\Delta 7.2\%$

セグメント利益: 412百万円

前年比: $+29$ 百万円
 $+7.6\%$



フォーミュラソリューション事業

- 食品材料 新規採用遅れ
- 接着剤 衛生材料用：顧客の調達先変更
製本市場の縮小

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

17

貸借対照表 (B/S)

■ インド3社を連結子会社化したことにより、資産、負債、純資産が増加

(百万円)	2015/3	2016/3 2Q	増減
流動資産	18,038	19,718	+1,679
現金・預金	2,622	2,343	△278
受取手形・売掛金	6,726	7,265	+538
たな卸資産	8,221	9,342	+1,120
その他流動資産	467	766	+298
固定資産	15,893	18,600	+2,707
有形固定資産	10,848	14,302	+3,453
無形固定資産	69	367	+297
投資等	4,974	3,931	△1,043
資産合計	33,932	38,319	+4,387

(百万円)	2015/3	2016/3 2Q	増減
流動負債	10,274	11,268	+993
支払手形・買掛金	3,768	4,076	+307
短期借入金・社債等	3,832	4,791	+958
その他流動負債	2,673	2,400	△273
固定負債	8,283	9,790	+1,507
長期借入金等	4,867	5,636	+768
退職給付引当金	2,700	2,784	+83
その他固定負債	715	1,370	+654
負債合計	18,558	21,059	+2,500
株主資本	15,423	15,462	+38
その他包括利益累計額合計	△152	△12	+139
非支配株主持分	102	1,810	+1,708
純資産合計	15,373	17,260	+1,886
負債純資産合計	33,932	38,319	+4,387

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

18

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

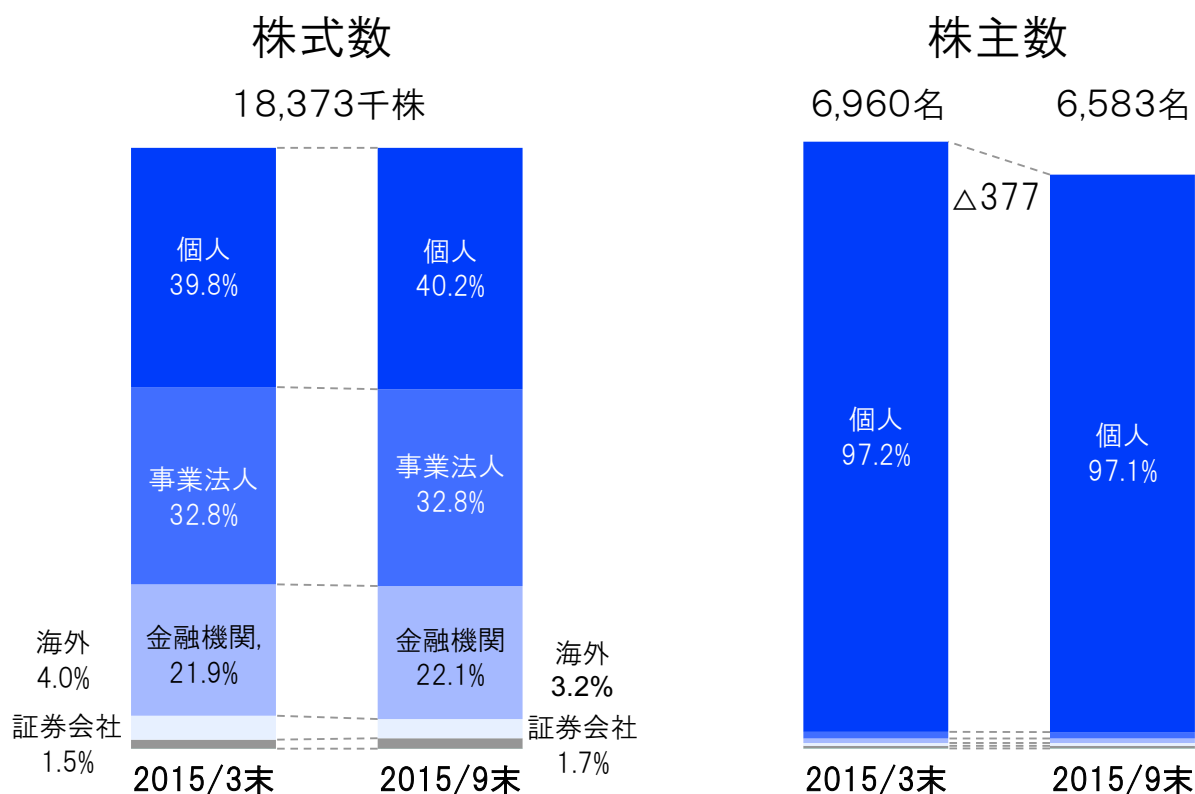
- 営業CF: 仕入債務の増加、たな卸資産の増加
- 投資CF: 設備投資による支出
- 財務CF: 借入による獲得、返済による支出

(百万円)	2015/3 2Q	2016/3 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	672	659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,460	△879
財務活動によるキャッシュ・フロー	197	△17
現金及び現金同等品の増加額	△561	△274
現金及び現金同等品の期末残高	1,844	2,313

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

19

株式分布変化



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

20

株主還元

<配当金>

2016年3月期	中間普通配	6円
	期末普通配	6円(予定)
	合計	12円(予定)

<株主優待制度>

今後も継続予定

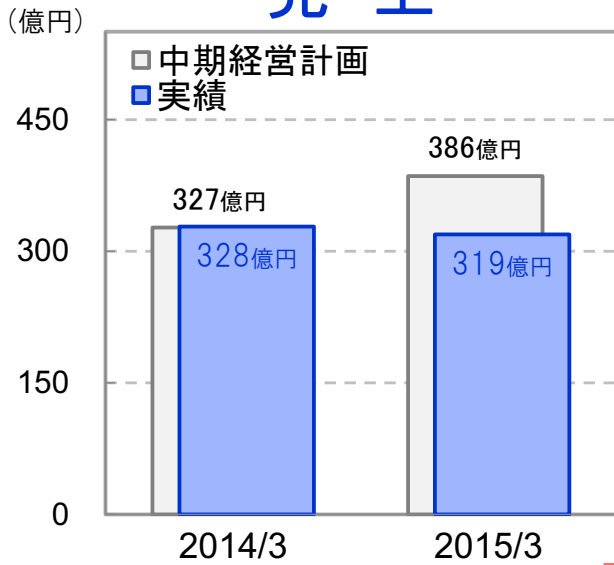
実施内容

- 100株～500株未満：
1,000円相当の(自社商品用)お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の自社商品(健康食品等)

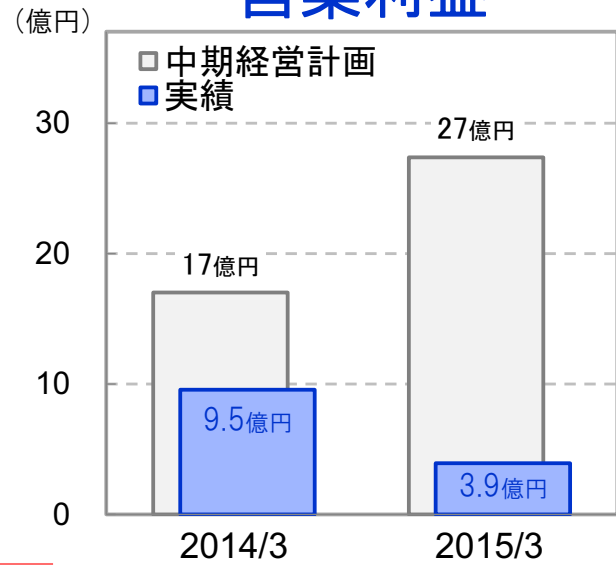
3. 中期経営計画

前中期経営計画と実績

売上



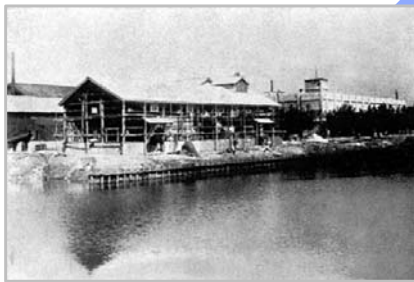
営業利益



前中期経営計画は中止へ

2018 創業100年

2016



1918 創業

前提となる市場環境と事業機会

- 日本：規制緩和 食品の機能性表示、BSE
➔ 新たな市場創造、事業機会の拡大
- 海外：アジアの経済成長による食の欧米化
➔ 加工食品、健康食品、医薬品の消費が増加
- TPPによる貿易自由化
➔ TPP域内にある当社グループの強みを生かす



大きな成長の機会

経営方針

スローガン

新たな視点で次のステージへ

基本戦略

質の追求



戦略課題

① 高付加価値商品の開発

- 生体調整機能コラーゲンペプチドの開発
- 再生医療用ゼラチン、コラーゲン開発
- アクティブシニア層向け製品開発

② 最適生産・最適販売

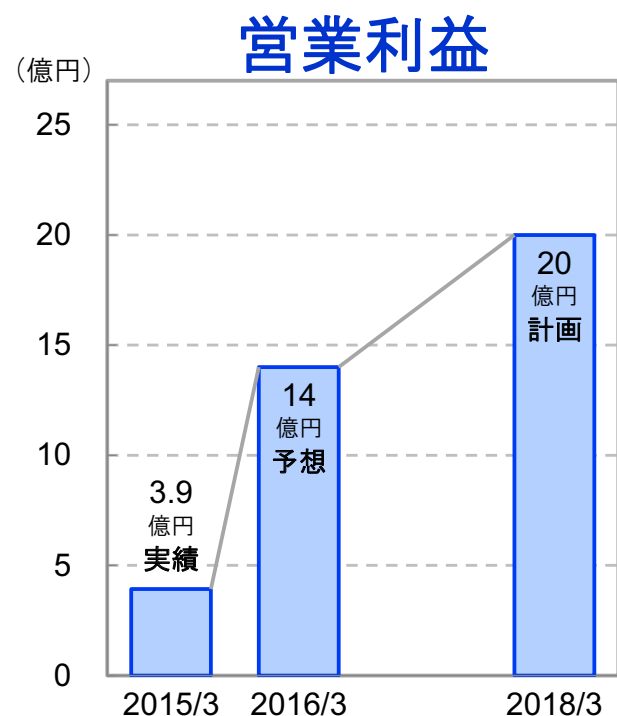
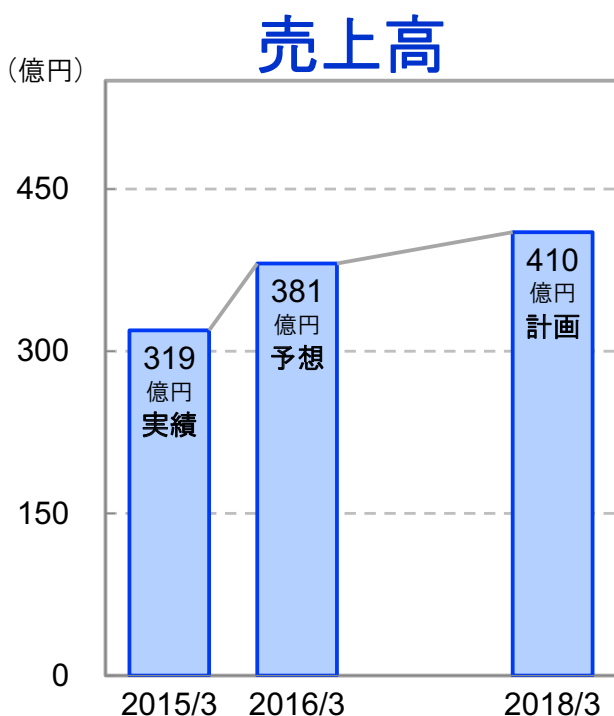
- 地産地消の推進
- 成長市場での販売拡大

③ グローバル経営基盤の強化

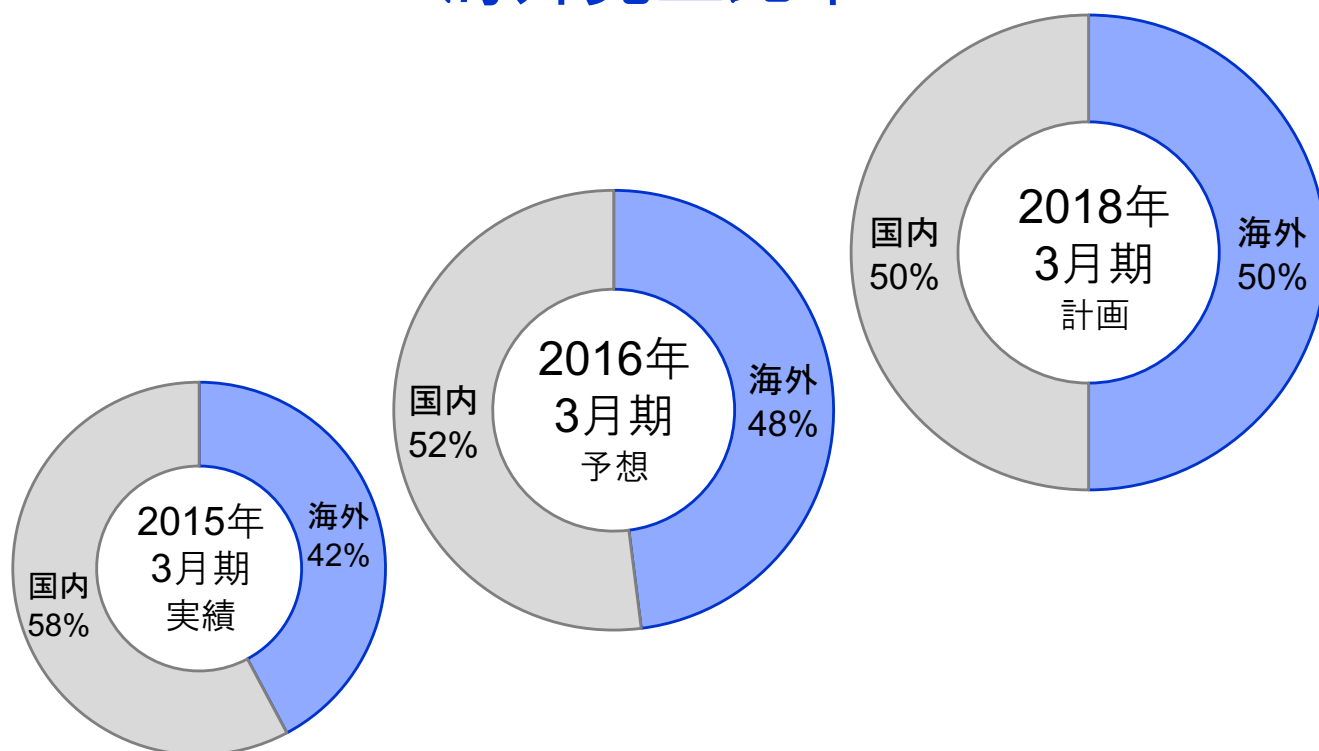
- 経営陣のダイバーシティー化
- 従業員の人材交流

3 中期経営計画

新中期経営計画



海外売上比率



2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

29

設備投資計画

予定総額: 65億円 (3年間)

主な内容

- ケーシング事業の設備導入
- 大阪工場のゼラチン増産設備導入
- 海外ゼラチン工場の生産効率化設備導入

2016年3月期 第2四半期 決算説明会資料 (2015.11.13)

30

4. 2016年3月期見通し

4 2016年3月期見通し

今後の見通し

部門	見通し
ゼラチン	<ul style="list-style-type: none"> • 国内の食用・医薬用は引き続き堅調 • コンビニ向け、カプセル用需要増
ペプチド	<ul style="list-style-type: none"> • 機能性表示食品による市場の再活性化 • インバウンド需要の継続
ケーシング	<ul style="list-style-type: none"> • 日本向け再参入着手
食品材料	<ul style="list-style-type: none"> • コンビニ向け総菜、デザートの特案
接着剤	<ul style="list-style-type: none"> • 高機能樹脂の新用途開発

2016年3月期見通し

(百万円)		2015/3	2016/3 (計画)	前期比
売上高		31,914	38,100	+19.4%
営業利益		392	1,400	+256.6%
	利益率	1.2%	3.7%	—
経常利益		967	1,100	+13.7%
	利益率	3.0%	2.9%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		610	500	△18.0%
	利益率	1.9%	1.5%	—

ご清聴ありがとうございました



新田ゼラチン株式会社